



令和2年7月13日(月)
品川区立台場小学校
校長 木村 巳典
きこえとことばの教室
担任 金田・高橋・木下
飯野・忍足・山城
TEL&FAX 3471-4943

通級が始まりました。久しぶりに会った子どもたちが、新しいクラスの先生や友達のことなどを笑顔で話す姿を見ることができ、嬉しく思っています。

今学期は、グループ活動や全体での活動など様々な活動が制限される中でも子どもたちが楽しく安全に通級できるよう取り組んでいます。保護者の皆様、在籍学級の先生方、通級時間の確保にご協力いただきありがとうございました。2学期も引き続き子どもたちのために力を尽くして参ります。

今年の夏休みは短いですが、楽しく充実した夏休みをお送りください。そして2学期には元気な笑顔で会えることを楽しみにしています。

7月予定

27日(月)～31日(金) 個人面談週間
31日(金) 1学期通級終了日

8,9月予定

8月25日(火) 2学期通級開始日
9月 1日(火) 城南ブロック研究会(午後の通級はありません。)

※グループ活動については、2学期より実施予定です。詳細な日程については決まり次第後日、該当の方にご連絡いたします。

保護者の方へ 個人面談のお知らせ

7月27日(月)～7月31日(金)の間で1学期最後の通級指導後に個人面談を行います。この面談では、個別指導計画に基づき指導してきたことの経過をお伝えし、今後の指導内容についてご相談します。

期間中の通級時間にご都合のつかない方は、担当と相談の上、日程の調整をお願いします。ご多用とは存じますが、どうぞよろしくお願いいたします。

在籍校訪問報告

通級が本格始動する前に、きこえとことばの教室に通級している子どもたちが、どんな様子で学校生活を過ごしているかを把握するために6月8日～19日にかけて在籍校訪問を行いました。

どの子どもも分散登校といういつもと違う状況でありながらも、落ち着いて学習に取り組んでいる様子が伺えました。

分散登校が始まって間もないご多用の中、ご対応いただいた管理職の先生方、担任の先生方ありがとうございました。

【作ってみた!】手話歌動画

臨時休業期間中、子どもたちに会うことができない中、私たちにできることは何かを話し合いました。そこで出たアイデアが「先生6人で手話歌のリレー動画を作ろう!」でした。

第1弾では「夢をかなえてドラえもん」の手話歌動画を作りました。この動画で使われている手話は「こころ」や「世界」、「夢」など様々な歌で使われています。全部覚えると、歌を手話で表現するときたくさん使うことができるようになります。

第2弾では、校長も参加して「ドレミのうた」の手話歌動画を作りました。「ドレミファソラシド」を各先生が担当し、指文字で表現しています。それぞれの指文字で「ドレミファソラシド」をどのように表現しているか注目しながら見てください。

動画はYoutubeにアップロードし、限定公開しています。ご興味のある方は、きこえとことばの教室までおたずね下さい。



「夢」は指先を少し曲げた手をゆらしながら上の方に動かします。



「ド」は人差し指と中指を立てた手を体の外に動かします。

裏面もごらんください。

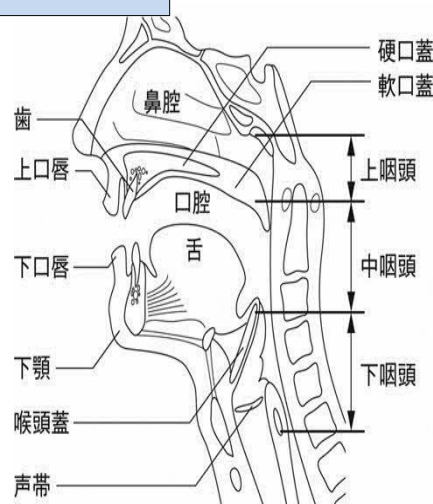
構音障害について

構音障害とは・・・

おかあさん→おたあたん、せんせい→てんていのように、特定の音を正しく発音できない状態のことを言います。発音の誤りには、他の音に置き換わっているもののほかに、他の音では表せないような誤り方(歪み)になるもの、他の音に置き換わっているように聞こえても、実はもっと複雑な癖がついてしまっているものがあります。

これらは、たまたま言い間違えるのとは違い、本人が正しく言おうとしてもできないので、正しく発音するための練習や、学級・学校での配慮が必要になります。

構音器官



〈発音の獲得について〉

発音は、乳児期から言葉をやりとりする中で、食べる機能の発達や聞き取る力の発達に伴い、発音の簡単なものから順に自然に獲得されます。個人差はありますが、1歳前後に母音、パ・バ・マ行、2歳頃までにタテト、ダデド、ナ・ヤ行音、3歳頃までに、ワ・カ・ガ行音、5歳頃までにハ行音というように獲得していきます。サ・ザ・ラ行音などは、5～6歳頃までに獲得しないことも多くありますが、小学校入学の頃までには、ほとんどの音は発音することが可能となります。

しかし、何らかの理由で誤った発音を覚えてしまったり、未熟だったりする場合があります。その理由としては、難聴、発音器官・発達全般・心理的な問題などが関係することがあり、専門機関で練習する必要があります。無理に練習すると、間違った発音の仕方を覚えたり、話すのが嫌になったりする心配があります。

正しい発音の獲得には、①心理的な安定 ②音を聞き分ける力 ③舌や唇など発音器官の運動機能などがが必要です。

発音の誤りがあったら・・・

お子さんに発音の誤りを直すには、専門機関での練習の他に環境調整もとても大切です。もし、お子さんに発音の誤りがありましたら、次の事柄にご配慮ください。

- ①発音にこだわらず、子どもの話をよく聞いてあげたり、楽しく遊びや学習をしたりできるように、支援してあげてください。
- ②言い直しや注意をしないでください。
→言い直しや注意はプレッシャーになり、言葉への劣等感へつながります。「はっきりいってごらん」も避けてください。
- ③ごく自然に回答して正しい音を聞かせてください。
→㊦「ウタギがね～」㊧「そう、ウサギが～したの」と、正しい発音をゆっくりはっきり聞かせるようにしてください。「ウタギじゃなくてウサギよ」というのは、避けてください。
- ④他のお子さんへの理解を図ってください。

正しい発音の獲得には、心が元気になることも大切です。きこえとことばの教室では、一人一人の状態を見て指導方針を立て、正しい発音の獲得に向けて支援していきます。

感染症対策のための取り組み

台場小学校きこえとことばの教室では、感染症の感染防止のため取り組みを6月より引き続き行っています。

- ① 児童の密集を避ける
 - ・1学期の指導時間中に行うグループ活動や全体活動を中止しています。
 - ・1学期のきこえグループ、コミュニケーショングループ、吃音グループの活動を中止しています。2学期以降様子をみて行う予定です。

- ② 密閉空間を作らないようにする。
 - ・朝から最後の指導が終わるまで常時換気をしています。
 - ・換気のできない場所での指導は行いません。

- ③ 消毒の徹底
 - ・指導ごとに机や椅子、ドアノブなど使用したものの消毒を行っています。

- ④保護者の皆様、来室時の検温、手洗い、消毒のご協力ありがとうございます。引き続きご協力のほどよろしくお願いいたします。

お願い・・・

台場小学校では水道から直接水を飲まないように指導しています。お手数ですが、飲み物をご持参いただくか、コップをご持参ください。



6・7月の掲示

〈教員の自己紹介〉

プレイルーム前に
教員6名の自己紹介
を掲示しました。
ぜひご覧下さい！

